

1 冬期災害への対策

【概要】

令和6年能登半島地震を踏まえ、札幌市の地域特性を考慮した災害対策を強化

(1) 避難所環境の整備

- ① 避難所の寒さ対策として毛布やストーブなどの備蓄物資を増強
- ② 避難者の集約先となる区体育館へ非常電源やマンホールトイレを整備

(2) 総合防災訓練の冬期実施

防災関係機関や地域住民などによる札幌市総合防災訓練を冬期に実施



令和6年度札幌市総合防災訓練の様子

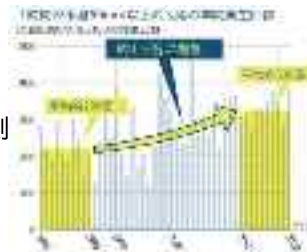
2 防災DXの推進

【概要】

少ない人手でも持続可能な防災体制を構築するため、本市の防災分野におけるDX化を推進し、防災対応の高度化・迅速化を目指す

(1) 風水害の危険性の予測

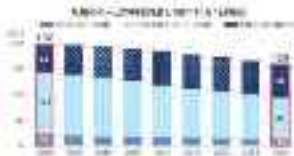
最新の気象予報技術を活用した風水害の危険性を予測するシステムを導入し、災害対応に向けた初動体制の早期確立や避難所の早期開設などへ活用



全国の大雨年間発生回数
＜出典：気象庁、札幌市＞

(2) 地震による家屋被害の予測

大規模地震における被害集中地域や家屋被害棟数を予測するシステムを導入し、予測結果を応急活動や家屋被害調査の体制強化などへ活用



札幌市の人口の将来見通し
＜出典：総務省「国勢調査」、札幌市＞

(3) 情報共有プラットフォーム導入による

情報収集・共有の迅速化

市職員と協力事業者が現場から情報の入力・閲覧することが可能な防災デジタルプラットフォームを導入し、現場情報の即時共有、災害情報の自動集約と分析を行うことで対応の迅速化へ活用

3 要配慮者等への災害対策

(1) 個別避難計画の推進

災害危険区域に居住するなど優先度の高い避難行動要支援者について、個別避難計画の作成を推進する体制を構築

(2) 避難確保計画の作成支援

要配慮者利用施設を対象とした避難確保計画の作成支援会を実施

令和6年度は20回開催し、128施設が参加

令和7年度は40回開催



作成支援会の様子

(3) 災害情報伝達手段の多様化

携帯電話を保有しない高齢者の自宅電話宛てに避難情報等を配信

4 物資・防災資機材に関する取組

(1) 災害時物流の強化

- ① 防災拠点倉庫の民間倉庫への移転
- ② 物資供給実動訓練の実施

(2) 自主防災組織の防災資機材に対する一部補助

自主防災組織の防災資機材購入費用に対する一部補助を新たに実施

5 令和6年能登半島地震に係る支援

(1) 指定都市市長会行動計画に基づく対口支援(石川県宝達志水町)

罹災証明に関する支援など、延べ1,033名を派遣

(2) その他短期派遣

応急給水や下水道被害調査、DMATなど延べ1,521名を派遣

(3) 中長期派遣

宝達志水町などへ6名を派遣中

(4) 物資等提供

- ① 石川県へ寝袋12,000枚の提供、災害見舞金の贈呈
- ② 被災者への市営住宅の提供 等



令和6年能登半島地震発生に伴う物資支援